

地球の「いきいき」のために

環境負荷削減に取り組みます

商品の中身が消費されたあとの空容器は廃棄物として地球環境に大きな負荷をかけています。このため、環境配慮型商品の開発や次世代を担う子どもたちへ啓発活動など、問題解決に幅広く取り組んでいます。

環境配慮型商品の開発:4Rの推進

宝酒造では、容器の素材選びなども含め、リフューズ(Refuse:発生回避)・リデュース(Reduce:減量化)・リユース(Reuse:再使用)・リサイクル(Recycle:再資源化)の4Rの取り組みを進めています。

リフューズ

「焼酎のはかり売り」は、新たな容器を使用せずに中身だけを販売するものです。お客様は家庭にあるペットボトルなどの空容器を販売店に持参し、宝酒造は専用タンクに詰められた焼酎を販売店に工場から直送します。販売店ではお客様が持参した空容器を洗浄し、店頭でその容器にお客様が必要な分だけ詰めて購入します。はかり売りは伝統的な酒類の販売方法であり、そのシステムを現代風にアレンジしています。現在は全国で約225店舗にご協力いただき、1998年の開始以来2008年3月末までに2.7ℓペットボトルで約443万本、段ボール約74万枚節約することができました。



リデュース

容器の軽量化は、製造時の資源消費や商品輸送に伴う燃料使用の削減などの環境負荷低減効果が期待できます。このため、宝酒造では種々の容器の軽量化を進めています。2002年度に焼酎エコペット、2003年度に宝焼酎「純」720mlリターナブルびんを軽量化しました。さらに、2004年には「タカラ有機本みりん」に従来のものに比べ約3割、約100gも軽い「超軽量ガラスびん」を採用しました。この超軽量ガラスびんの採用により、エネルギー使用量が3.5%、CO₂排出量が6.2%削減されます。超軽量ガラスびんはタカラ有機本料理清酒や本格米焼酎仕込「寶」「京みりん」にも採用しています。



リユース

一升びんをはじめとするリターナブル容器の使用は、資源の節約や廃棄物の削減に有効な手段です。宝酒造はこの一升びんで国内トップクラスの使用量を誇っています。残念ながら消費スタイルの変化などの理由から清酒や焼酎、本みりんなどで使用されている一升びんは減少の一途をたどっています。そこで、宝酒造では、1994年から主力商品の宝焼酎「純」、宝焼酎「純」レジェンド720mlびんをリターナブルびんに変更しました。また、2003年から業界団体で普及を推進している「300ml統一リターナブルびん」を採用した特撰松竹梅(特別純米)300mlを販売しています。



リサイクル

宝酒造は、1998年にリサイクルの効率化のために策定された「指定ペットボトル自主設計ガイドライン」に酒類業界で初めて完全準拠したペットボトルを開発しました。ラベルをはがしやすく改良したり、リサイクルの妨げになっていた取っ手をなくすなど、リサイクル性を向上させました。また、本みりんや料理用清酒には「はずせるキャップ」を採用し、お客様の分別作業を容易にしました。



4Rの推進

環境配慮型商品の開発

環境に配慮した商品の販売量を増やすことは、間接的に環境負荷を下げることに繋がると考えます。宝酒造では、ISO14001の目標に「環境配慮型商品の開発」を掲げ、毎年2件以上の商品改良や開発を行うことを目標として活動しています。

2007年度 環境配慮型商品開発・改良事例

| 対象商品 | 環境配慮の内容 |
|----------------------|--------------------|
| タカラcanチューハイ、宝焼酎の烏龍割り | 500mlペット軽量ボトル採用 |
| 焼酎「JAPAN」 | 軽量化びん採用 |
| 全量芋焼酎「一刻者」、本格芋焼酎「黒甕」 | 720ml軽量化びん採用 |
| 上撰松竹梅「たけ」 | 180mlペット生分解性フィルム採用 |

9:環境に配慮した商品開発のための指針 10:グリーン調達・4Rガイドライン

TOPICS

業界初! 清酒の外装フィルムに生分解性プラスチックを採用しました

清酒「上撰松竹梅「たけ」」180mlペット容器の外装フィルムに、「生分解性プラスチック*」で作られたフィルムを採用しました。今回採用したフィルムは、トウモロコシのでんぷんを原料とするもので、フィルム製造時および廃棄時の二酸化炭素排出量の合計が、従来品の約半分に抑えられる、環境に優しいフィルムです。

*生分解性プラスチック…自然界の微生物によって二酸化炭素と水に分解される「自然に還るプラスチック」のこと。



次世代を担う子どもたちへの啓発活動

NPO法人日本環境倶楽部と共同で作成した飲み物容器のリサイクル啓発絵本「TaKaRaリサイクルロード」を全国の小中学校の希望者に無料配布しています。また、エコプロダクツ展などの環境イベントにおいても、希望者に配布しています。



リサイクルロード

環境イベント等を通じた情報発信

エコプロダクツ展や京都環境フェスティバル、アースデイ東京などの環境イベントにおいて、環境配慮型商品の開発など4Rの取り組みについて紹介しました。4Rの情報発信



業界関連団体との連携による取り組み

容器リサイクルを推進するためには、関連する業界全体で取り組まなければ解決できない問題がたくさんあります。宝酒造では、種々の容器リサイクル団体に加入し、運営も含めた団体の活動に積極的に参加しています。リサイクル団体では、日頃は事業活動で競合しているメンバーがリサイクル推進という共通目的のために知恵を出し合い、効率的なリサイクルシステムの構築や機関誌・ホームページ・展示会などを通じた容器リサイクルの啓発活動などを行っています。

宝酒造が加入している主なリサイクル団体

- ・(財)日本容器包装リサイクル協会
- ・アルミ缶リサイクル協会
- ・ガラスびんリサイクル促進協議会
- ・紙製容器包装リサイクル推進協議会
- ・PETボトルリサイクル推進協議会
- ・酒パックリサイクル促進協議会

8:720mlリターナブルびんの推移 H:環境配慮型商品

お客様の「いきいき」のために

社会の「いきいき」のために

地球の「いきいき」のために

社員の「いきいき」のために

信頼される企業であるために

お客様の「いきいき」のために

社会の「いきいき」のために

地球の「いきいき」のために

社員の「いきいき」のために

信頼される企業であるために